

進路指導部

令和6年度卒業生を囲む会より(R6.6.5)

今年度も 3 年前に卒業した先輩たちが、話をしに来てくれました。一般企業に就職した普通科出身の先輩と大学や専門学校に進学した美術科、メディア芸術科出身の先輩です。また、最後に自衛隊水戸募集案内所の担当者よりお話いただきました。先輩方がそれぞれの分野で活躍している話を聴いて、途中どよめきが始まるほど在校生は刺激を受けました。先輩方の話をよく聞いてメモをたくさん取る様子が伺えました。生徒の感想を以下に載せます。



・私はこの会を通して、社会人に求められることで学んだことは、「あたりまえのことをあたりまえにする」と「言葉づかい」、「就職先に慣れる」などです。とくに、就職先に慣れるには、人間関係を良くすることもあると思うので、私は誰かに話しかけるのが苦手なので、人に話しかけられるようになりたいです。高校時代、「なるべく休まない」や「成績を良くする」などが大事だと言っていたのでがんばりたいです。

(1年女子)

1人1人学生時代に目標や夢があって、そのことに集中して取り組んでいたと、講話を聞いて思いました。卒業生は、大人と学生の違いをくわしく教えてくれて、とても勉強になったし、責任感の違いを改めて実感しました。社会のこと、世の中のこと、責任をもつこと、大人の考えをもつことが話を聞いて大切だと思いました。私もこれから自分がやりたいこと、目標や夢を決めて、それに向かって努力していきたいと思いました。

(1年女子)

自分のこれからに大事な話を沢山聞いた。Kさんの話で「あたりまえことをあたりまえにやる」ってことが大事って言っていて、中学校でも同じことを言われててやっぱり大切なことなんだと改めて思いました。

(1年女子)

色々な人達の話聞いて、色々な自分に合った道があるんだと思いました。3年生になった時に参考にしたいです。また、仕事につく時に、日々の生活で大切なことがあるのだと気づきました。(1年女子)

進路を考える幅が広がったと思った。自分が目指す進路先が決まったときのために、今できることをしていきたい。また、自分のイメージしていた働くことや大学での生活が、実際に在学している人たちから話を聞くことで変わった。話を聞いていて、実際に体験することが何においても大切で、あたりまえのことをあたりまえにできるようにするために今のうちから慣れることが必要だと思った。

(1年女子)

進学・就職など人によって感じ方はちがうんだなと思った。社会人で大切なことは、責任感で、仕事場の環境に慣れること、場を明るくし、上司と向き合うことが大切なんだと思った！卒業生は、三年間はあっという間などと言ってたけど本当にあっという間に三年生になっていそうだなと思った。

(1年女子)

・今回の卒業生を囲む会で、これから仕事につくまでの準備をした方がよいことを知ることができました。・仕事についたら、あいさつ、責任感、積極性が大事なことがわかった。

(1年女子)

私は学芸員が気になっていて、専門的なことを学びたいと思っているけれど、先輩方の話を聞いて、1年のときから勉強や生活態度をちゃんとしようと思った。あいさつや提出物や成績、出席日数など気をつけなければいけないところがたくさんあり、大変だけど、「三年間しかない 無駄にしないで」と言っていたので頑張ろうと思った。

(1年女子)

先輩方が大学に進学、就職するまでにしたこと、高校と社会での違いで大きく変わったと思うところなど、とても貴重な話を聞かせていただきました。やはり、社会人になってからの責任感というものは一番よく関わってくるのだらうと思いました。“個人だけでなく、全体に影響する”というのは、提出が遅れたから1日遅れて出すというようなことは社会では通用しないということを理解しました。

今を大切にしよう、3年間の間にやっておいてよかった、と思えるような生活をしていきたいと思います。

自衛隊の方でのお話では、自衛隊にはたくさんの命がかかっていることがわかりました。いろいろなことに押しつぶされそうになりながらも頑張る姿は、とてもすばらしいと思います。(1年女子)

社会に出てから求められることは、勉強ができる、できない、の単純なことだけではないことが強く伝わってきました。最低限の知識は必要とされると思いますが、それだけではなく、時間を守ることや、周囲に気を配るなど、普段の生活の中でも求められることが多くあると改めて知ることができ、1年生のうちから意識して過ごしたいと思うことができました。他にも良好な人間関係を築くために大切な事や、作品を作るためのコツなど教えていただいたことを実践しながら、自分に合う、他人のためにもなる方法を探していきたいです。

プレゼンテーション、人の前に出て話す力が重要だとOさんが話されていたので、苦手だけど、逃げてばかりいるのではなく、挑戦してみるという心を忘れずにいきたいです。(1年女子)

進路講話「卒業生を囲む会」を通して、去年は全く気にしていなかった進路のことを考えさせられる話だったな…と思いました。夏休みには進路を決めておいて面接のときに、何話そうかななどを考えておきたいなと思いました。あたりまえのことをあたりまえにすると、卒業生の方も言っていたのであいさつや、態度などをしっかりし、入社したときにめいわくにならないようにしたいと思いました。(2年男子)

今日の進路講話で卒業生の色々な職業の話聞いて、これからの進路を決める時に今日聞いたことを生かせるようにしていきたいです。今は学生の生活めんどくさいとか思っていたりするけどこの生活が将来役に立つということを忘れないようにしていきたいです。周りを見て行動したりなどの自分だけでなく相手のためになることは今からでもできることなので、意識して生活しようと思います。社会人として目の前のことに対してどのように取り組むかの姿勢が求められていると知ることができたので、今の高校生活での友達や先生、先輩・後輩にたのまれたことなどにすばやく対応して、仕事に就いてからも同じ行動をとることができるように努力していきたいと思いました。(2年女子)

話を聞いて、なにが大事なのか知ることができた。

進路では先生と面接の練習をたくさんして、なるべく学校を休まないことや、まわりを見て行動していくことが分かった。社会に出るとあいさつ、礼儀、言葉使いなどが大切で、一人の責任ではないため、チームと協力して行動していくことが分かった。話すことが多くなるため、正しい言葉を選び、コミュニケーションを取ってきたい。これからは学んだことをいかして生活していきたい。(2年女子)

進学、就職した卒業生の方の話聞いて良かったです。

人それぞれ向き合うべき課題があったり、学生との違いがあったりすることがよく分かった。進学にしても就職にしても良い人間関係を築くために日ごろから人とコミュニケーションをとったり積極的に話しかけたりしていきたいと思った。将来苦労しないためには、今から提出物をきちんと出したり、あいさつをきちんとしたりするように心がけたい。(2年女子)

実際にその場所で働いていたり、学んでいたりする人からしか聞くことのできない話を聞くことができて良かったです。先輩方の話の中ででてきた社会人にとって大切なこと、高校生のうちにやっておいた方がよいことなど、自分じゃ気がつくことができないことに気がつくことができました。

先輩方の言ってくださった通り、出席日数や成績、部活動など、今しか頑張ることのできないことを頑張っていこうと思います。今のうちから進路を考えたり、社会にでた時に必要になることを少しでも学んでおいたりしようと思いました。(2年女子)

就職されている卒業生の話で、目の前のことにに対してどう取り組むか、取り組む姿勢が大事と言っていて、進学された卒業生の話でも積極性、自主性について話をされていて、一生懸命に取り組むことが大切だと分かりました。また、分からないことをそのままにしないで、疑問に思ったこと、分からないことは素直に聞こうと思いました。

(3 年女子)

社会に必要なことは、人前でどう行動できるか、目の前のことにに対してどれだけ考えて行動にうつせるかが大切だと分かりました。また、就職は人間関係やその仕事のやりがいを感じられるか、責任の重さをどう受けとるか。進学は、学校に入る前と入った後の違いなどいろいろな経験があり、入学してから1年、2年、3年とやることがあり1つ1つ提出物やプレゼンを丁寧にやりとげることが大切だと分かりました。(2 年女子)

卒業生のみなさんのお話を聞いて、就職してからのことや進学後のことを知ることができました。

学生時代にやったことや社会人になってから心がけた方がいいことなどたくさん聞くことができました。

特に O さんのお話は勉強になりました。私も文化デザイナー学院を第2希望に考えているので、どんな勉強をしているのか、どんな活動をしているのか、専門学校で必要なことをたくさん聞くことができました。

今回聞いたことを意識し、自分の受験、その先の進路先に活かしていきたいです。(2 年女子)

今日はおいそがしい中私たちにお話をしてくださりありがとうございました。

どうしたら就職しやすくなるか、大学がおもったところと違ったなど私たちが不安に思っていることをお話ししてくださり参考になりました。

私は面接がとても不安でバイトの面接でもあせってしまったりつまってしまったりすることがあり、就職先だと話せなくなってしまうのではないかと心配でしたが、K さんがお話してくださったあまり話さない先生と面接をたくさんするとあせらなくなると言っていて実践しようと思いました。会社について、入社してから後悔しないようにたくさん調べ、自分の将来により近づく会社につきたいと思いました。

ありがとうございました。

(3 年女子)

今までお話ししてくれた方々と同様に、やっぱり今の学校生活の中であたり前のことを頑張っ、自分が気になる企業、学校について調べて、そこから見学や面接練習などに取り組むことがいいと分かりました。あまり自分から行動することが苦手だけど、近々どんどん企業の見学などが始まります。そこから試験に向けての面接練習も始まるので、置いていかれぬように頑張っていきたいです。また、就職をして、組織に加わったら、今とはちがう責任などもついてくるので、今から少しでも意識のもち方を改善して、自分の後悔が残らないように就職活動に取りくんでいきたいです。本日はありがとうございました。(3 年女子)

今からでも就職するためにできることを考えて実せんしようと思った。

就職したいところがあれば、とことん調べて自分が納得するまで考える。また、面接練習も多ければ多いほど自分に自信がつくことがわかった。

高校卒業後は、就職し、社会にでるけど、高校生のうちに社会にでてもはずかしくないような言葉づかいや時間の使い方、きりかえができるようになるなど学んで、身につけたいです。

勉強面でも、成績をきにしながら、授業も、学校行事も力を入れていきたいです。(3 年女子)

今回の講話を聞いて自分に自信をつけたり、人前で話すことを慣れたり、最後まで努力する。

最後に社会にでたときに必要な会計や数学的なことを学んでいきたい。(1 年女子)

私は今回の進路講話をきいて、「自分でも頑張れることはあるかもしれない」と思いました。自分は勉強が得意でもなく、休みも多い、など就職に不安だと思えることがありました。しかし、今回の卒業生の方の“求められること”をきいて、自分でもできると思えることがありました。

当たり前のことを当たり前にしっかりやる、という点は自分の長所と同じでした。掃除をする人が私しかいなくても、サボらずしっかりやる、期限を守る、ことができるからです。しかし、適応能力がない所が短所です。なのでこれからはバイトなどでお客様になにを言われてもすぐに適応できるようにしたいと思いました。その為に、なにか起こる前に“もしも〇〇があったらどう対応するか。”を考えようと思いました。人に対する仕事がほとんどなので、相手の方に迷惑にならない、不快にさせない、というのを心がけながら考えて行動できるようになりたいと思いました。あと休み増やさない…。

(3年女子)

高校生活で3年間努力して、取り組んできたものは、将来的に自身の強みになり、3年間で身につけたスキルを大切にしようと思った。また、就職活動のため、成績を上げる意識、提出物の期限の厳守、欠席、遅刻をしないことを意識して生活しようと思えた。卒業生の先輩方の話を聞いて社会人は責任を伴い、もし勝手な行動をしてしまったら学生のときは違い個人の問題ではなく会社全体に関わる問題になりかねないので、まだ学生だから大丈夫という考えではなく、もう社会人になるのだから責任ということについて考えようと思った。また、社会人では当たり前のことをできるようにならなければ、会社の人達から信頼を得ることができないという話を聞き、あいさつ、時間を守るという行動をよりいっそう意識しようと思えた。今日の講話は自分が社会人になったとき何を大切にすればいいか、意識すべきことは何かということが分かり、とても勉強になった。

(3年女子)

今、3年生になってこうして話を聞くと、1、2年と比べて卒業生の言葉の重みが違うなど実感しました。話を聞いている中で、Oさんの一言ですごく自分の心に残ったのは“イメージと違ったりしてやめるのも一つの手”という言葉です。他の人は“がんばれ”や“あきらめないのも大事”と言われる中で真反対の言葉がとても衝撃でした。一つ一つの言葉を受けて自分の中で考えた事が、とりあえずやってみて、がんばってみるなんて事を考えました。

(3年女子)

先輩方の話を聞いて高校生活は3年間しかないので、1日、1日を大事に過ごしていこうと思った。あいさつや、話を聞く、提出物をしっかり出すなど当たり前の事をできるようにしていこうと思いました。なるべく学校を休まずにとうとうしていこうと思った。就職活動に向けて、なるべく重く考えず、ピンときたところをえらんで面接練習をしていこうと思いました。 あいさつや言葉づかいを意識して生活していこうと思った。

(3年女子)

卒業生を囲む会を通して、人との関わり方や、言葉の大切さを知ることができました。企業に就職した方や、現役の大学、専門学生の話で共通していた事は、言葉遣いや普段の行動の事などで、人として生きていく上で言葉は大事なのだと感じました。大学に在学中の方の話で、「大学はおもしろくない」という話題が出ていて、とても興味がわきました。自分の目指している大学の学科では「空間にいる人を楽しませよう」というコンセプトがあるので、そういった意識を持っている教授や教諭、または生徒がいれば「つまらないから行きたくない」となる事が減り、みんなが楽しく制作できるのかもしれないと感じました。自分の将来について深く考えることができたので良かったです。

(3年女子)

今日「卒業生を囲む会」を行って分かったことは、まず、一人目に聞いた話だと、面接はなるべくあまり面識のない先生とやったほうが緊張感を持てていいと言っていた。二人目に聞いた人の話は、あいさつがとても大切で、三人目に聞いた人の話だと高校の三年間はとても大切にして生活をした方がいいということ。四人目は、ターゲットに対してどうやって興味を持たせるかが大切で、最後に聞いた自衛隊の人の話だと、仕事で必要な資格は無料で取れるということを知って、自分もとってみようかと思いました。

(2年男子)

進路講話を聞いて、どんな仕事をしているか、どんなことをしているかなどをききました。なかなかこのようなきかいはないので貴重だなと感じました。自分が就職するときに、卒業生から聞いたことを参考にしたいと思います。自分にいまできることをやってみたいと思います。

(2年女子)

ほとんどの方が高校時代に頑張っていたことがあって、その努力で新しい気づきや社会に出てから役立つことがあったんだな、ということであらためて思いました。

当たり前のことを当たり前に！ということは高校時代から自分で考えて行動できるほうがいい、ということでは理解していましたが、自分ができることにばかり目を向けて苦手なことに対して向き合わなければならないと感じました。今から自分にできることや、やらなければならないことを理解して行動していかなければいけない、もっとできることに目を向けなければならないと思いました。Kさんがおっしゃっていたように、普段関わりのない先生にお願いして面接練習に付き合ってもらう、というのは自分でもいいな、と思ったのでそれを実践していきたいと思います。新しい環境になっても人間関係を円滑にするためにやはりコミュニケーション能力と積極性が大切なのだと、今回の進路講話で理解することができました。今更ですが実際面接では何を質問されたのか聞けば良かったと思いました。(聞いても大丈夫なのか分からなかったので…)

(3年女子)

さまざまな会社や学校の話聞いて、共通して言えることは、当たり前のことを当たり前にできる能力は大切ということだと思いました。多くの人とコミュニケーションをとったり、本を読んだり、締切を守るということは高校生のうちからできることなので、残りの高校生活で、積極的に取り組んでいきたいと思います。今回色々な話を聞き、自分自身の生活を見直す機会になったので良かったです。

(3年女子)

高校生活などで Adobe アプリケーションに触れることが多いため、それを無駄にしないように、とメディア系に元々興味があったのもあり専門学校を進路先に選んだのですが、やはり専門学校に通っている先輩方もその培った技術が無駄にするのは…と指導いただいたようで、少しだけ現在もつ信念に揺らぎを生みましたが現在は現在と折り合いをつけて頑張っていきたいと思った。

また目をそむけきれないのはやはり就職面。専門学校に通ってスキルが伸ばせるけどメディア系で食っていけるのは現実、1割くらいだとも聞きます。故に「もしも」の場面のために Adobe の技術はみがいていこうと思います。

(3年女子)

様々な人の話を聞くことが出来て勉強になった。自分の進路についてあらためて見直したり考えたりしてしっかり決めていきたいと思った。就職した方々の話も将来社会に出るために必要な話が多く聞けたので良かった。

(3年女子)